

「誕生日のケーキ」

粘土の手作りケーキで、誕生日のお祝いをしている4歳児クラスで、Kくんのケーキ作りが始まりました。

Kくんはねずみのケーキが、いいんだって。 どうやったら作れるかな。 やってみる!

えっ?! むずかしい。 うん!

ハートのクッキー食べるわ。 これは1ヶゴ。 ほくも1ヶゴ作る。 ねずみ、これでいいかな? かわいい!

出来た! うん! ありがとう。

Kくん、これでいい? Kくん、良かったわ。お誕生日が楽しめたわ。 子どもたちが、いっしょけんめい作った、手作りケーキから、友だちを喜ばせたい思いが伝わってきました。

「つらら、きれいやね」

雪が降る様子をうれしそうに見つめていた4歳児のKくんが、窓の外を指差しました。

あっ! あそこ見て!

軒下に輝く長いつららにみんなびっくり! 取って! つららだ! きれい! さわりたい! 本当や、つららが出来たんやね。

保育士が、つららを取って見せると、保育室は、大賑わいです。 つるつる! きれい! 冷たい! キャハハ! キラキラ!

しばらくすると、子どもたちがさわったつららは溶けて小さくなっていました。 溶けてったわ。 うん。 水になっとるわ。 あーあ...

次の日の雪あそびでも、つらら探しをする子どもたちの姿がありました。時間がたつと、みんなの作った雪だるまや、つららは溶けてしまいましたが、子どもたちの表情は、瑞々しい感動に包まれていました。